

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県美濃市 美濃病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	対象	ド透訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
19,494	14,289	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
122	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	122
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
116	-	116

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、民間の診療所との連携の中心的役割を果たし、地域の急性期並びに慢性期医療を担っています。救急医療については、可能な限りの受け入れに努め、市内唯一の病院としてCT、MRI、内視鏡の共同利用の推進等、市内各診療機関との連携に努めています。また、在宅医療支援センターの運営により、入院患者及び在宅患者が、住み慣れた地域で安心な療養生活を継続しておくための役割を担っています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

R4年度は、ウィズコロナ対策の浸透により患者数は回復傾向を見せたが、物価高騰の影響により医療収支比率が100%を割っています。しかしながら、コロナウイルス感染症対策に係る補助金により経常収支比率は引き続き100%を超えています。また、累積欠損金についてもH27年度から解消されており、経営はおおむね健全といえます。入院患者及び外来患者の1人1日当たり収益とともに例年並みで、類似病院平均値も上回っています。また、職員給与及び材料費の対医療収益比率については横ばいですが、いずれも類似病院平均値を下回っており、収益・費用の両面ともに効率的な経営が保たれています。

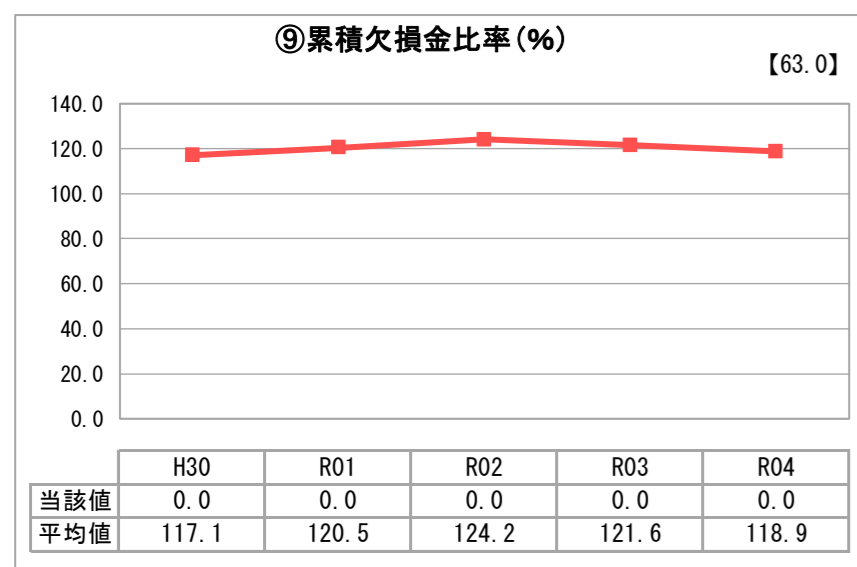
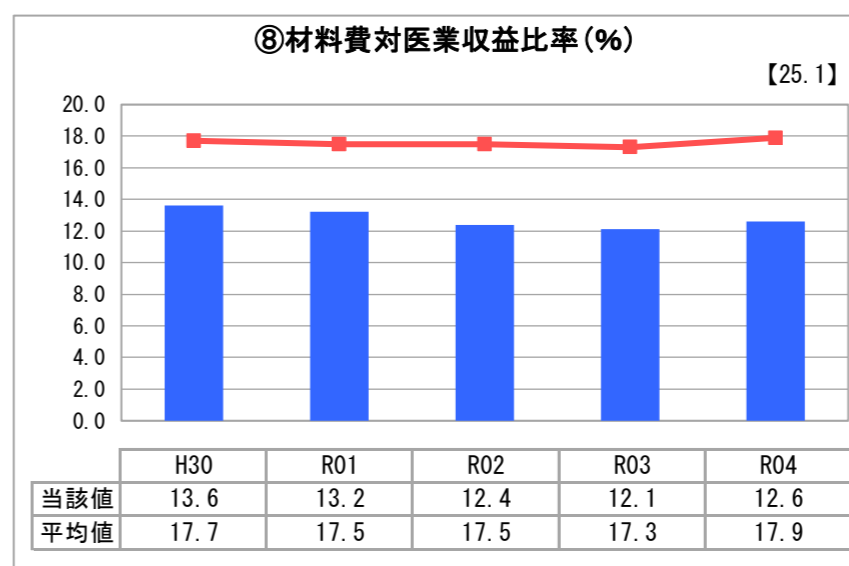
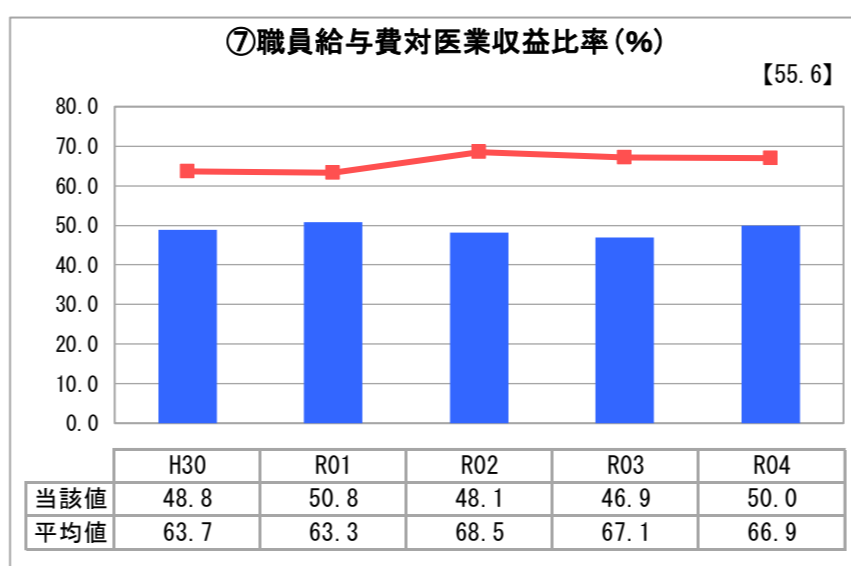
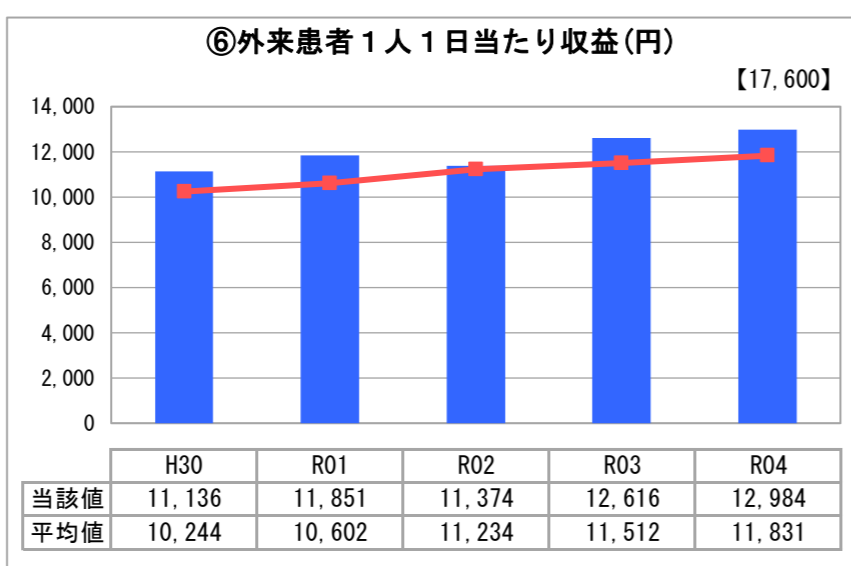
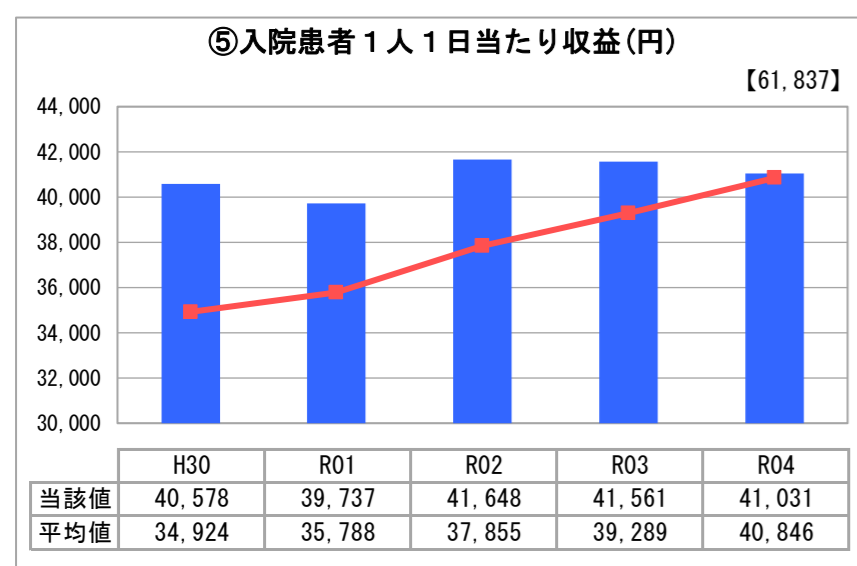
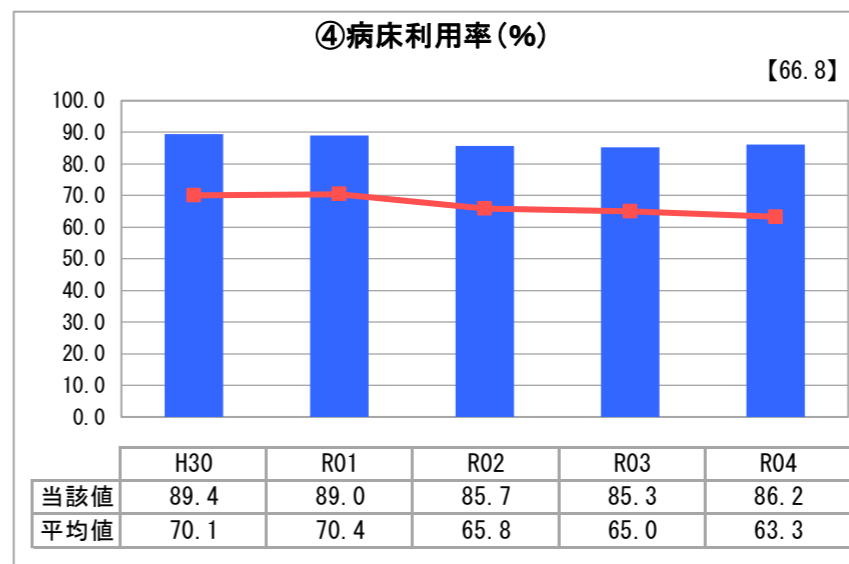
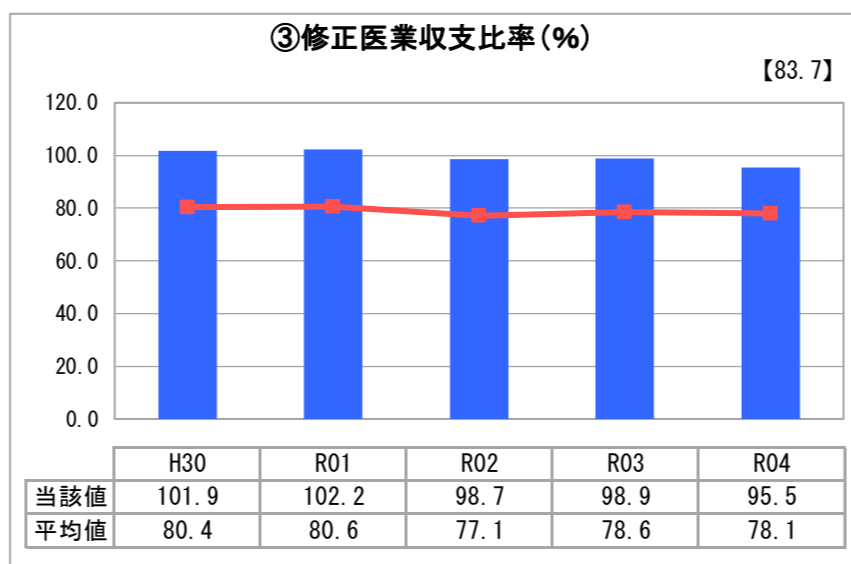
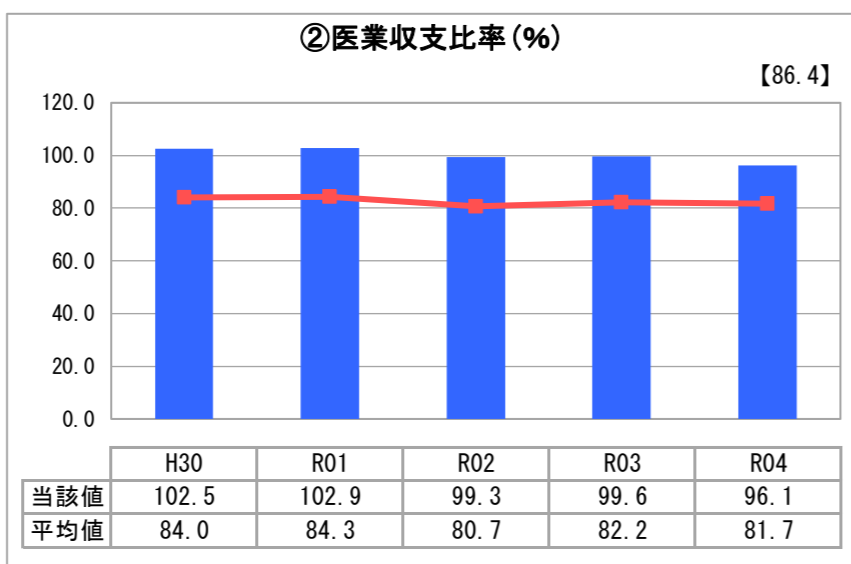
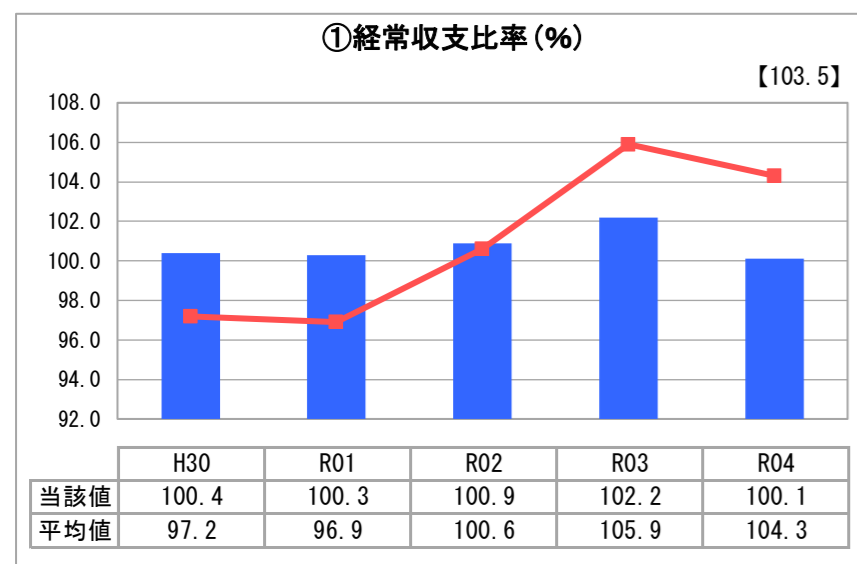
### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、徐々に増加していますが、類似病院平均値よりは低い比率です。器械備品減価償却率については、大型医療機器の更新が進んでいないため、類似病院平均値以上になっています。また、1床当たり有形固定資産についても、H28年度の健診棟・外来棟の増改築による有形固定資産の増加により、類似病院平均値を上回っています。

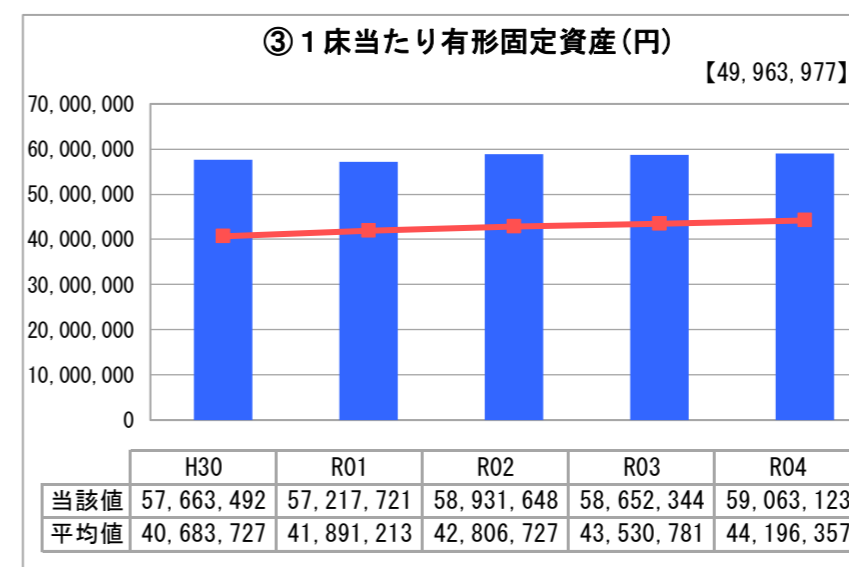
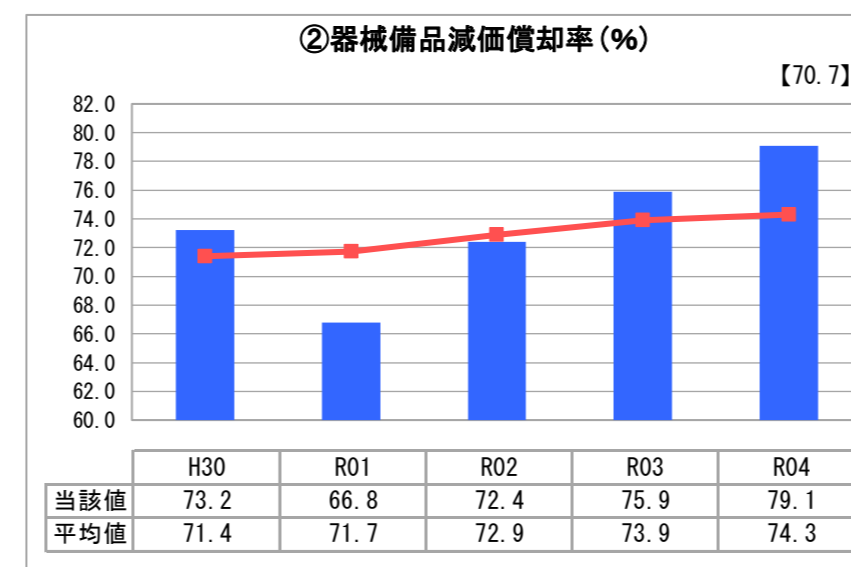
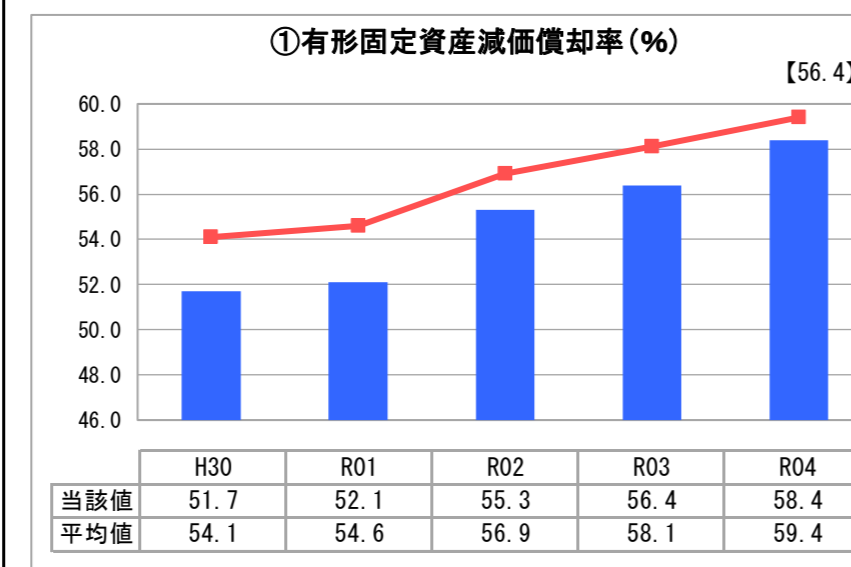
### 全体総括

自治体病院として、地域から選ばれる満足度の高い医療サービスを提供することを目的に、健全で効率的な経営を目指しています。R4年度も引き続き、経営の健全性や効率性は保たれていますが、H28年度に行いました健診棟、外来棟の増改築に係る減価償却費の増加等による経費増により、収益に対する費用の圧迫が見られます。今後、老朽化による建物・設備の修繕による経費増が考えられるため、他の経費の削減を図るなど、より一層の経営の効率化を図ることが必要と考えられます。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。